

1. 事業所数

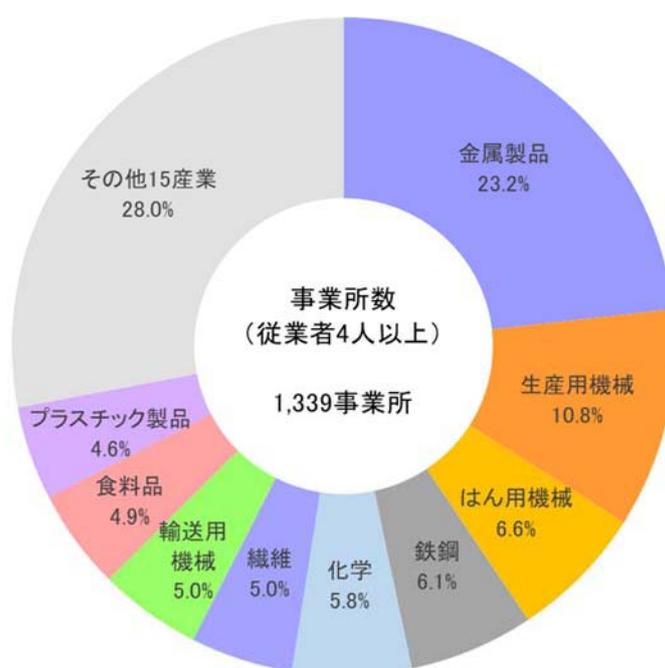
事業所数は1,339事業所で、前年に比べて16事業所の減少（▲1.2%）となった。

（1）産業別状況

産業別構成比は、金属製品（311事業所、23.2%）、生産用機械（145事業所、10.8%）、はん用機械（89事業所、6.6%）の順となっている。

産業別前年比較は、24の産業のうち、非鉄金属（3事業所、7.5%）、輸送用機械（3事業所、4.7%）、化学（2事業所、2.6%）など6産業で増加し、繊維（▲13事業所、▲16.3%）、木材（▲3事業所、▲10.3%）、はん用機械（▲3事業所、▲3.3%）など8産業で減少している。

第9図 事業所数の産業別構成比（従業者4人以上）



産業3類型別構成比は、基礎素材型産業（686事業所、51.2%）、加工組立型産業（373事業所、27.9%）、生活関連・その他型産業（280事業所、20.9%）の順となっている。

（2）従業者規模別状況

従業者規模（小規模層：4人～29人、中規模層：30人～299人、大規模層：300人以上）別構成比は、小規模層（1,039事業所、77.6%）、中規模層（274事業所、20.5%）、大規模層（26事業所、1.9%）の順となっている。

(3) 地域別状況

各区における産業別事業所構成比上位3産業は、以下となる。

〔堺区〕

金属製品（78 事業所、25.5%）、生産用機械（43 事業所、14.1%）、鉄鋼（31 事業所、10.1%）の順となっている。

〔中区〕

金属製品（46 事業所、19.9%）、生産用機械（29 事業所、12.6%）、食料品（21 事業所、9.1%）、繊維（21 事業所、9.1%）の順となっている。

〔東区〕

金属製品（9 事業所、19.6%）、印刷（4 事業所、8.7%）、その他（4 事業所、8.7%）の順となっている。

〔西区〕

金属製品（68 事業所、23.4%）、化学（36 事業所、12.4%）、生産用機械（29 事業所、10.0%）の順となっている。

〔南区〕

金属製品（18 事業所、20.9%）、繊維（11 事業所、12.8%）、生産用機械（10 事業所、11.6%）の順となっている。

〔北区〕

金属製品（19 事業所、15.0%）、その他（13 事業所、10.2%）、はん用機械（10 事業所、7.9%）の順となっている。

〔美原区〕

金属製品（73 事業所、28.9%）、プラスチック製品（25 事業所、9.9%）、生産用機械（24 事業所、9.5%）の順となっている。

第10図 事業所数の地域別産業構成比（従業者4人以上）



堺市における区別構成比は、堺区（306 事業所、22.9%）、西区（290 事業所、21.7%）、美原区（253 事業所、18.9%）、中区（231 事業所、17.3%）、北区（127 事業所、9.5%）、南区（86 事業所、6.4%）、東区（46 事業所、3.4%）の順となっている。

区別前年比較は、東区（3 事業所、7.0%）、中区（2 事業所、0.9%）、北区（1 事業所、0.8%）の3区で増加し、堺区（▲11 事業所、▲3.5%）、南区（▲6 事業所、▲6.5%）、西区（▲5 事業所、▲1.7%）の3区で減少し、美原区は増減がなかった。